

キャパテック緊急遮断弁

特長

■動力に長寿命で長期間メンテナンスフリーなキャパシタを採用

キャパシタは従来の蓄電池のような化学反応を伴わない起電方式の為、劣化が少なく長寿命な蓄電器です(保証使用環境下で10年以上の寿命、10万サイクル以上の充放電が可能)。従来のUPS方式に比べ、長期間メンテナンスフリーを実現しました。

■電源内蔵の電動弁方式なので操作性に優れ、コンパクト

停電時でも電動弁に内蔵したキャパシタの電源で電動弁が作動する方式です。通常は電動での弁の開閉が出来ますので操作性に優れています。また、操作盤にUPS等の無停電電源装置を組込む必要がありませんので、操作盤がシンプルでコンパクトになりました。もちろん、電動弁本体もコンパクトになっています。

■φ100mm以下の緊急遮断弁にも対応可能

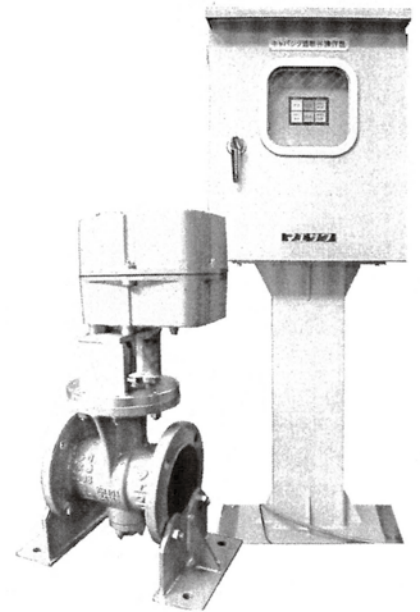
口径φ50～250mmまでをラインナップしました。キャパシタを使用することで、従来のUPS方式と比較し経済性に優れた緊急遮断弁となりました。これまで困難であった小規模貯水槽や専用水道貯水槽にも緊急遮断弁が設置しやすくなりました。(φ50～125mmは本体フランジレスバタフライ弁を標準としております。)

■地震感知式は操作盤に設定値選択可能な感震器内蔵

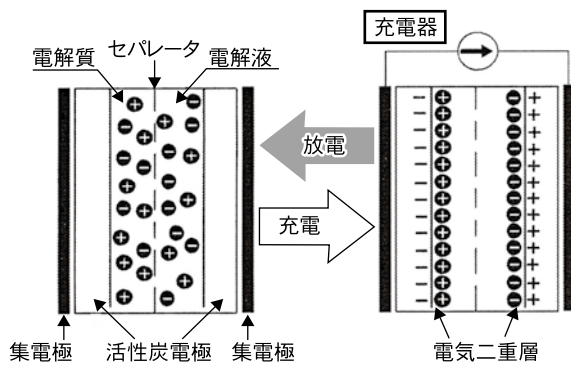
操作盤に感震器を内蔵しています。感震器は4段階(100、150、200、250gal)の中から選択できます。

■停電感知式は操作盤なしで「緊急遮断」又は「緊急解放」可能

通常は普通の電動弁で、停電になったら閉又は開という動作だけであれば、弁単独で可能です。(開・閉の操作信号は別途御支給願います。)



電気二重層キャパシタ

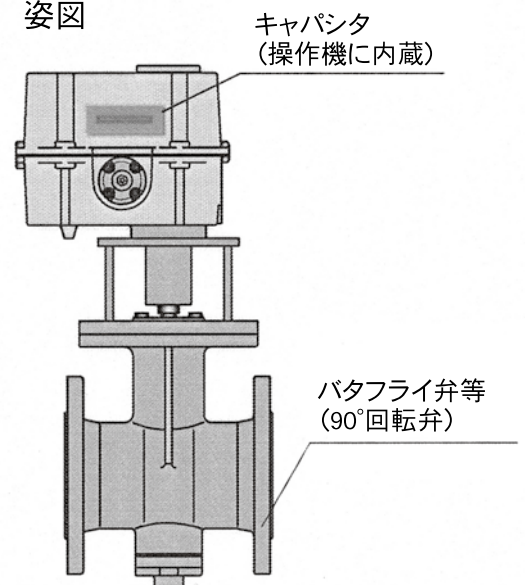


電気二重層キャパシタは、電気二重層コンデンサとも呼ばれています。電気二重層という現象を利用することで、単位体積あたりの静電容量をファラッド単位の超大容量まで蓄電可能にしたコンデンサのことです。

電気二重層キャパシタの実用例として、小容量の電子機器用メモリーや時計回路のバックアップ電源として用いられてきました。

ハイブリッド自動車や電気自動車の電源としても注目されています。

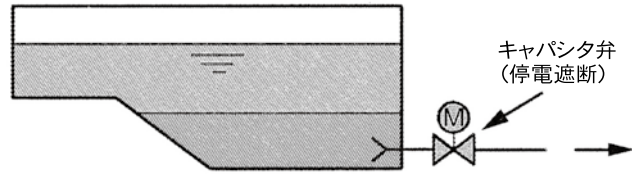
姿図



用途例

池排水弁

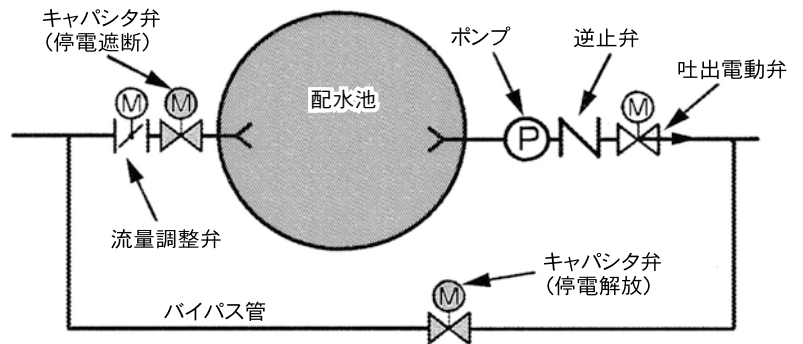
沈澱池の排泥弁やろ過池の捨水弁をキャパシタ弁にしておくと、排水中に停電になっても弁を全閉にすることができるので、池が空になることを防止できます。従来、専用に設けていたエア操作式のバルブも他の設備と同様に電動弁へ統一する経済設計が可能です。



配水池流入弁とバイパス弁

広域水道から受水しポンプによって配水するシステムでは、停電によりポンプが運転できなくなった場合、配水池の流入管に停電で遮断するキャパシタ弁を設置しておくことで、配水池のオーバーフローを防止することができます。

また、バイパス管に停電で開放するキャパシタ弁を設置しておくことで、暫定的に広域水道の圧力を利用して配水することも可能です。



紫外線処理装置管理弁

紫外線処理装置の前後にキャパシタ弁を設置し、停電で遮断することで未処理の水が配水されることを防止します。

